

(作成年月日) 2026年1月27日

臨床研究に関する情報

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和5年3月27日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

当院における進行卵巣癌 NAC 症例における KELIM スコアと予後の検討

[研究の目的]

進行卵巣癌に対する術前補助化学療法 (neoadjuvant chemotherapy : NAC) 後の治療効果や予後を治療早期の段階で予測する指標は臨床的に重要です。KELIM スコアは、化学療法開始後の血清 CA125 値の低下動態から算出される指標であり、腫瘍の化学療法感受性を反映するとされ、欧米を中心に予後との関連が報告されています。一方で、本邦の実臨床データに基づく検証は限られているのが現状です。

本研究では、当院において NAC を施行した進行卵巣癌症例を研究対象者とし、KELIM スコアと無増悪生存期間 (PFS) および全生存期間 (OS) との関連、ならびに interval debulking surgery (IDS) における手術達成度 (optimal 以上) との関連を明らかにすることを目的として解析を行います。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

進行卵巣癌の患者さんで、2019年1月1日から2025年12月31日の間に、周産期科女性診療科に通院・入院された方

○利用する情報

患者背景 (年齢、組織型、FIGO 進行期)、治療内容 (術前化学療法内容、腫瘍減量手術施行の有無)、CA125 測定値、KELIM スコア、再発の有無および再発時期、転帰など

○上記情報の利用開始予定日

倫理委員会承認日

[研究責任者]

香川大学医学部附属病院 周産期科女性診療科 助教 香西 亜優美

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 周産期科女性診療科 担当医師 香西 亜優美

電話 087-891-2174